

北医療生協の取り組む 学習サポートモデル事業

寺子屋学習塾

北病院総合サービス課 森 千奈美

日本の子供の貧困率は16・

3%と先進国では4番目に高い
値になっています。名古屋市で

は2013年度学習支援制度の
施行実践を経て、2014年度
6区に事業を拡大し委託先を募
集しました。当生協はそれ以前

より学習支援への意欲があり、
「生活保護世帯の子供の学習サ
ポートモデル事業」に応募し、委

託が決定されました。地域に暮
らす子供たちが経済的理由で学

習する場を失うことを無くすこ
とを目的とし、生活保護世帯の

中学3年生を対象に平安教室・
味鏡教室・黒川教室の3か所で
開催。1か所10名程度で週2

回2時間の学習支援の他、保護

者への支援及び子供の居場所づ
くりとなるような取り組みを実

施しています。寺子屋の学習サ
ポーターは主に地域の組合員さ
んが中心となって子供たちに勉

強を教えています。現任教員や
退職教員、社会人など豊富な経
験を持つ人が講師を務めます。

子供たちの勉強意欲はとても
強く、テスト前になると早く来
て延長学習を行っています。サ

ポーターの方も「教えた時間に
見合うだけの知識量を生徒が身

に着け、生徒の成長を感じるこ
とができる」とおっしゃってい
ました。

この事

業は行政
と連携し

て運営がなされています。自治
体としっかり連携を取りながら
今後進めていくことが大切だ
と考えます。

